

議員の定数と報酬のあり方について

1 検討経過について

- (1) 7月2日 議長からの諮問書受理（第6回議運）
- (2) 7月21日 諮問事項検討スケジュール協議（第7回議運）
- (3) 8月22日 議員研修（講師：江藤俊昭議会サポーター）
- (4) 10月14日 常任委員数と委員会数について（第14回議運）
- (5) 10月20日 検討手法の協議（自主調査・研究）（第15回議運）
- (6) 10月26日 常任委員数と委員会数について（第16回議運）
- (7) 11月4日 議員定数について（第17回議運）

※ 関連記事を議会だよりに掲載～令和3年7・8・11月号

2 これまでの協議概要と議論の視点について

- (1) 常任委員数と委員会数について
 - ① 現状維持
 - ② 2人削減（全体）
- (2) 議論の視点
 - ① 議論成立（会議の安定成立）の視点
 - ② 町民の声を反映させる視点（人口規模との比率）
 - ③ 住民の福祉向上に寄与する視点（委員会機能の確保）
 - ④ 議会の役割（議会活動）が発揮できる視点

3 今後の協議・検討スケジュール

- (1) 12月14日 第21回議運～「常任委員数と委員会数」について
 - ① 新たに広報広聴委員会のような機能は要か不要かについて議論する。
＜要否の議論→（要となった場合）→議員数の議論（議員数増・複数所属）＞
 - ② 2人削減とした場合の常任委員数について議論する。＜現行8人構成→7人構成（議長・委員長を除くと5人。1人欠席の際は4人の審査を想定）→複数所属の要否

(2) 12月21日 第8回全協～「議員定数と報酬のあり方」について

PTAとの意見交換会で報告している内容、今後のスケジュール、第2回モニター会議での進行要領を共有する。

(3) 12月21日 第22回議運～「報酬及び政務活動費」について

前回答申事項（平成26年11月）及び現状の共通認識を図り、客観的な視点で課題を抽出する趣旨

- ① 議会サポーターからの提言（神原・江藤）
- ② 十勝管内議会の概要（人口・面積・議員定数・常任委員会数）
- ③ 報酬・期末手当の現状（十勝管内町村議会）
- ④ 政務活動費の現状（全道町村議会交付状況）
- ⑤ 議員報酬の変遷（平成8年度～）
- ⑥ 議会会議数の変遷（平成27年度～）

(4) 12月27日 議会改革諮問会議

諮問委員と常任委員会正副委員長との意見交換（下記テーマ）

- ① 常任委員会数
- ② 委員会数
- ③ 報酬

(5) 1月17日（仮） 第23回議運～検討状況の整理

第2回モニター会議の進行要領及び全協での情報共有事項の共通認識

(6) 1月20日（仮） 第9回全協～第2回モニター会議詳細共通認識

第2回モニター会議の進行要領の共通認識